

みずほCustomer Desk Report 2020/06/10号 (As of 2020/06/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.08
TKY 9:00AM	108.41	1.1304	122.47	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	108.54	1.1364	122.59	1.2736	0.70240
SYD-NY Low	107.63	1.1241	121.33	1.2757	0.70430
NY 5:00 PM	107.75	1.1338	122.18	1.2620	0.68990
NY DOW	27,272.30	-300.14	日本2年債	-0.170	▲2.00bp
NASDAQ	9,953.75	29.01	日本10年債	0.010	▲3.00bp
S&P	3,207.18	-25.21	米国2年債	0.203	▲2.57bp
日経平均	23,091.03	▲87.07	米国5年債	0.397	▲5.26bp
TOPIX	1,628.43	▲2.29	米国10年債	0.823	▲5.48bp
シカゴ日経先物	22,895.00	-325.00	独10年債	-0.3130	0.75bp
ロンドンFT	6,335.72	-136.87	英10年債	0.3325	▲0.05bp
DAX	12,617.99	▲201.60	豪10年債	1.0450	▲3.00bp
ハンセン指数	25,057.22	280.45	USDJPY 1M Vol	6.85	0.48%
上海総合	2,956.11	18.34	USDJPY 3M Vol	6.55	0.23%
NY金	1,721.90	16.80	USDJPY 6M Vol	7.05	0.21%
WTI	38.94	0.75	USDJPY 1M 25RR	-1.55	Yen Call Over
CRB指数	138.45	0.95	EURJPY 3M Vol	8.36	0.45%
ドルインデックス	96.32	▲0.29	EURJPY 6M Vol	8.40	0.28%

【昨日の指標等】

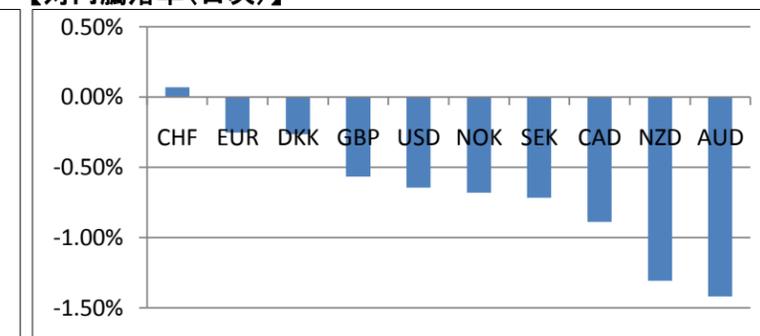
Date	Time	Event	結果	予想
6月9日	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)確報	1Q -3.6%/-3.1%	-3.8%/-3.2%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	4月 0.3%	0.4%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	4月 -16.9%	-2.0%

Date	Time	Event	予想	前回
6月10日	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	5月 -3.3%/2.7%	-3.1%/3.3%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	5月 0.0%/0.3%	-0.8%/0.3%
6月11日	03:00	米 FOMC 政策金利	- 0.00%-0.25%	0.00%-0.25%
	03:30	米パウエルFRB議長 記者会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のドル円は108.41レベルでオープン。序盤から前日海外時間のドル売り地合いを引き継ぎ、ドル円は108円台を割り込む展開。日経平均株価がマイナス圏に沈んだこともあり、ドル円は上値重く推移し、108.03レベルでクロス。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.03レベルでオープン。米株が年初来水準まで戻ったこともあり米株先物が上値重く推移する中で円買いがやや優勢。朝方107.78まで売られ、揉み合った後、昼ごろからはリスクセンチメントがやや改善されたのか、ユーロやポンドが買い戻されると、クロス円の上昇と共にドル円も108.24まで上昇。結局108.13レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は108.13レベルでNYオープン。朝方は米金利低下が続き、ドル売りが加速し、再び108円を割り込む。対ユーロのドル売りが波及したこともあって107.63まで下落。午後は米長期金利が小幅に持ち直し、米株が下げ幅を縮小する中、ドル円も一時107.80まで戻すも、明日のFOMCを控え様子見ムードが広まる中、107.70近辺で方向感の無い推移となり、結局、107.75レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、アジア時間に1.1315まで上昇する場面もあったが、欧州株の軟調推移を受けてユーロ売りが先行し、一時1.1241をつける。しかし、米金利の低下が続く中、次第にドル売り優勢となった結果、下げ幅をほぼ解消され、1.1283レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、1.13台を回復。前日の日通し高値(1.1319)を上抜けるとストップスを巻き込みながら買いが加速し、1.1364まで上昇。午後は買い一服し、1.1340近辺で揉み合い。明日にFOMCを控える中、終盤は積極的な取引が手控えられ、狭いレンジでの推移となり、結局、1.1338レベルでクロス。本日はナスダック株価指数が史上最高値を更新するも、ドル円やユーロドルへの影響は限定的だった。

【マーケット・インプレッション】 ポジティブシンキングアメリカ人の真骨頂

5月末発表の4月個人所得・個人消費結果を見ながら、「おや・・・」と心がざわついた。消費は前月比▲13.6%と過去最大の落ち込みを記録する一方、所得は米政府救済措置に押上げられ前月比+10.5%と過去最大の伸びを記録。結果的に、4月貯蓄率は33%と過去最高を記録。「アメリカ人」と「貯蓄」一豚に真珠ぐらい似つかわぬ。「この貯蓄、ロックダウン解除になればどうなるのか・・・」思わず弊行米国拠点に連絡してみると、「二極化している印象があるものの、想像以上に売上げが急回復し、在庫が追いつかないと言っているお客様もいらっしゃいます」というコメント。やはり供給が個人需要に供給が追いつかないという状況が出てきているということだ。そんななか目の当たりにした米5月雇用統計。レジャー部門は前月比124万人増加。データを詳しく見ると「レストランや飲み屋の雇用者数増加」という記載。統計調査週はロックダウン継続中の州が多数あったにもかかわらず、だ。勿論、レジャー部門からは3・4月で830万人の雇用が喪失しており、15%ほどの回復にすぎないが、とはいえ回復タイミングのフライングっぷりは、まさに「ポジティブシンキングアメリカ人の真骨頂」を見せつけられた感じである。数か月家に閉じ込められ、前月比33%も貯蓄率が伸びた米国人。日本人のように「貯金が溜まった」と喜んではいない。おそらく彼らはストレスが溜まっている。そのストレスをオンラインショッピングで発散しまくっていることは史上最高値を連日更新するアマゾン株をみればわかるが、それでも足りないのだろう。一連のコロナの流れで米国経済活動が大打撃を受けたことは事実であり、私は米国の消費・景気の回復には当面時間を要すると考えていたが、この見通しは根本から誤っている可能性がある。米国がぶれしていた私は、帰国後1年4か月ですっかり真面目で悲観的な日本人に戻ってしまったようだ。米国在住真っ最中の私であれば、「お金もストレスも溜まって発散したくてたまらない米国人は、障壁が外れると怒涛の消費をするでしょう。景気はV字回復、米株上昇です。景気回復期待を背景とした米金利上昇にはせいぜい気をつけるのでしょね」とコメントしていただろう。ポジティブシンキングアメリカ人の真骨頂を決して甘く見てはいけません。正直まだ迷いはあるが、「ネガティブ材料が根底に流れつつも、当面はリスクオン地合継続と予想すべきなのだろう」と感じる今日この頃だ。(たさかまりえ)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。